

厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗



ネオゴーサー #2300PS



ネオゴーサー#2300PSは、1回塗りで120 μ mの厚膜塗装が可能な厚膜形エポキシ樹脂塗料です。省工程形塗装に最適でコスト低減に寄与します。

ネオゴーサー#2300PSの性状(鋼道路橋塗装用塗料標準2014)

特長

- 1.120 μ m/1回塗りの厚膜塗装が可能です。
- 2.ハイソリッドタイプの低溶剤形塗料です。
- 3.防食性に優れています。

商品構成

名称：ネオゴーサー#2300PS
色相：赤さび色、さび色

容量	セット	主 剤	硬化剤
	20kg	17kg	3kg
	4kg	3.4kg	0.6kg

混合比：主 剤/硬化剤=85 / 15
シンナー：二液形ネオゴーサーシンナー

試験項目	規格	品質		
成分	塗膜中の鉛の定量 (質量分率%)	0.06以下	合格	
	塗膜中のクロムの定量 (質量分率%)	0.03以下	合格	
塗料性状	容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になる。	合格	
	塗装作業性	吹付け塗りで塗装作業に支障がない。	合格	
塗 装 作 業 性	乾燥時間 (h)	A(23℃)	B(5℃)	合格
		16以下	24以下	合格
	ポットライフ	5時間で使用できる。	5時間で使用できる。	合格
たるみ性	隙間隔200 μ mでたるみがない。		合格	
塗 膜 性 能	塗膜の外観	正常である。		合格
	上塗適合性	支障がない。		合格
	耐おもり落下性 (デュボン式)	500mmの高さから300gのおもりを落とすときの衝撃によって、塗膜に割れ及びはがれが生じない。		合格
	付着性	分類1又は分類0		合格
	耐アルカリ性	水酸化ナトリウム溶液(50g/l)に168時間浸したとき、異常がない。		合格
	耐揮発油性	石油ベンジンとトルエンを容量比で8:2に混合した試験液に48時間浸したとき、異常がない。		合格
	サイクル腐食性	120サイクルの試験でさび、膨れ、割れ及びはがれがない。		合格
長期試験	屋外暴露耐候性	24ヶ月の試験でさび、割れ、はがれ及び膨れがない。		合格

適合規格

- 鋼道路橋防食便覧 鋼道路橋塗装用塗料標準
- 福岡北九州高速道路公社 FKD P-04
- 阪神高速道路株式会社 HDK P-04
- 名古屋高速道路株式会社 NES P-104
- 首都高速道路株式会社 SDK P-417

用途

鋼構造物外面用下塗(橋梁、プラントなど)

標準塗装仕様 (鋼道路橋防食便覧 C-5塗装系)

塗装工程	素地調整程度・塗料名称	使用量 (g/m ²)	目標膜厚 (μ m)	塗装方法	塗重ね間隔 (20℃)	施工区分
1	素地調整				4時間以内	製鋼工場
2	プライマー	160	(15)	スプレー		
3	2次素地調整				6ヵ月以内	橋梁製作工場
4	防食下地	600	75	スプレー	4時間以内	
5	ミストコート	160	—	スプレー	2日~10日	
6	下 塗	540	120	スプレー	1日~10日	
7	中 塗	170	30	スプレー	1日~10日	
8	上 塗	140	25	スプレー	1日~10日	

塗装ガイド

塗装方法	エアレススプレー・はけ・ローラー					
スプレー仕様	標準膜厚120 μ m	標準使用量	540g/m ²	被塗物の形状・表面状態によって使用量は若干異なります。		
はけ・ローラー仕様	標準膜厚60 μ m	標準使用量	190g/m ²			
塗装環境条件	温度	5~40℃	湿度	85%以下	表面温度	50℃以下
塗装方法 エアレススプレー例	圧縮比	30:1以上	ノズルチップ (GRACO)	519・521 相当		
	二次圧力	15MPa~	塗装適正粘度	0.5~1.0Pa.s (リオン粘度計)		
使用シンナー	二液形ネオゴーサーシンナー					
	温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
ポットライフ		12時間	10時間	8時間	4時間	2時間
乾燥時間	指触乾燥	3時間	2時間	1時間	30分	30分
	歩行可能	2日	1日	1日	1日	16時間
	完全硬化	14日	10日	7日	5日	5日
塗重ね間隔	MIN	1日	1日	1日	1日	1日
	MAX (同種)	30日	30日	30日	30日	20日
	MAX (異種)	10日	10日	10日	10日	7日
適正希釈率	エアレス	10~15%	10~15%	10~15%	5~10%	5~10%
	はけ・ローラー	10~15%	10~15%	10~15%	5~10%	5~10%

注1 塗重ね間隔において、別途、基準が定められている場合は基準を遵守してください。

注2 データは予告なしに変更することがあります。

安全衛生

項目	主 剤	硬 化 剤	シンナー
有機則区分	2種	2種	2種
危険物分類	4類1石・II	4類1石・II	4類1石・II

■ 取り扱いに関する一般的な注意事項

■ 調合

- 1 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するよう心がけてください。
- 2 塗料は使用前に電動攪拌機等を用いて十分攪拌を行い均一な状態にして使用してください。
- 3 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
- 4 希釈用シンナーは弊社指定のシンナーを用いて、希釈量は、規定量内でご使用ください。

■ 塗装

- 1 気温5℃以下、湿度85%以上のときは塗装禁止です。低温時には乾燥遅延となり高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
- 2 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
- 3 被塗物の表面温度が50℃以上の場合は、塗装を避けてください。
- 4 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 5 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないように注意してください。
- 6 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
- 7 塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。

■ 緊急時の対応

- 1 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 2 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 3 蒸気、ガス等を吸入した場合には、清浄な空気の場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 4 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 5 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
- 6 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

■ 廃棄

- 1 自然発火の恐れがありますので、当該塗料が付着したウエスやダンボールなどの可燃物、塗料カス、スプレーダスト等は速やかに焼却処分をするか、水に浸してください。
- 2 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■ 保管

- 1 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 2 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 3 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 4 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 | 北 陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315 | 四 国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108 |
| 東 北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813 | 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 | 九 州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777 |
| 東 京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553 | 大 阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268 | |
| 静 岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091 | 中 国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821 | https://www.shintopaint.co.jp/ |

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。